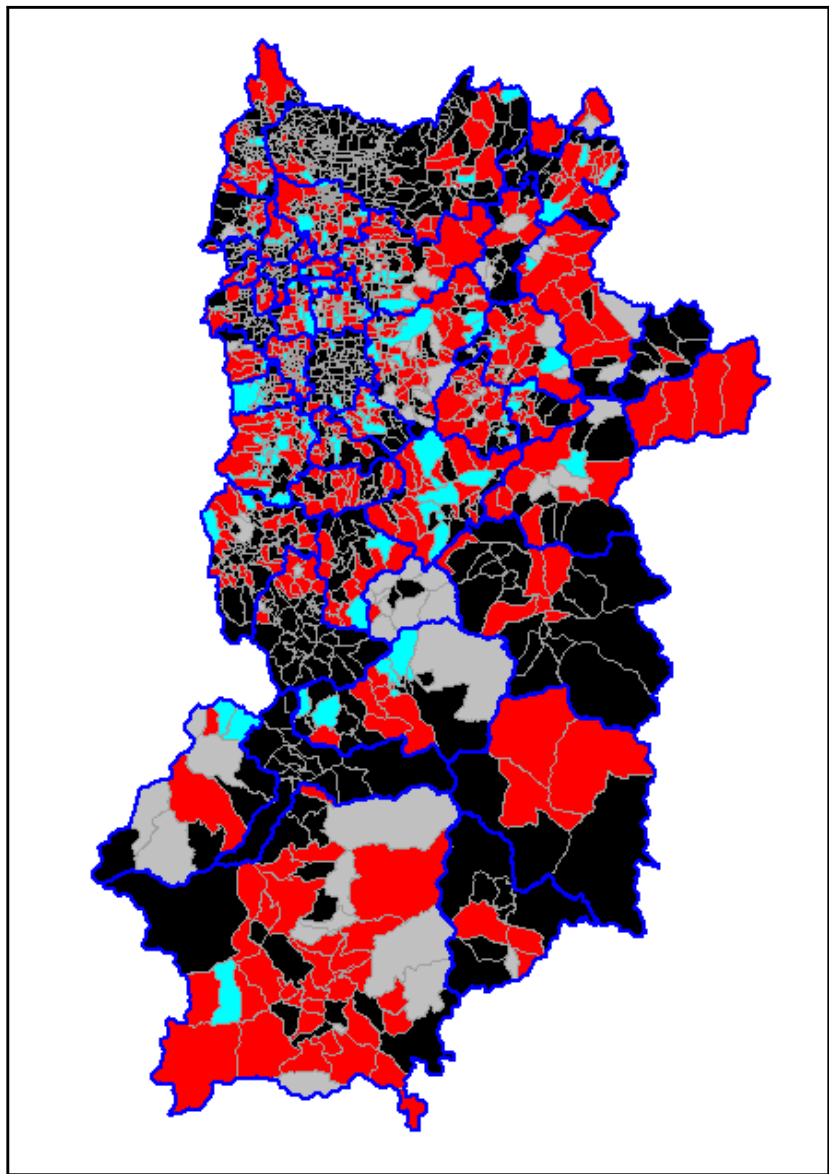


農業・林業集落アンケート調査によるヒヨドリの生息状況・被害状況 (平成24年度)

1. 平成24年度農業集落アンケート調査によるヒヨドリの分布



右図は、平成24年度の農林業集落アンケート調査による、ヒヨドリの分布である。

農業集落でヒヨドリが「いる」と回答があった場合に「いる」と回答があった場合に「分布している」とした。回収無しには既に人が住んでいない集落も含まれている。

ヒヨドリは平地の林から山地の森林まで広く生息し、都市部、農耕地であっても、ある程度木(あるいは林など)があれば生息している。本設問の回答もそのようなヒヨドリの生態を反映しており、本年度もほぼ県内全域から「いる」との回答があった。

・平成24年度

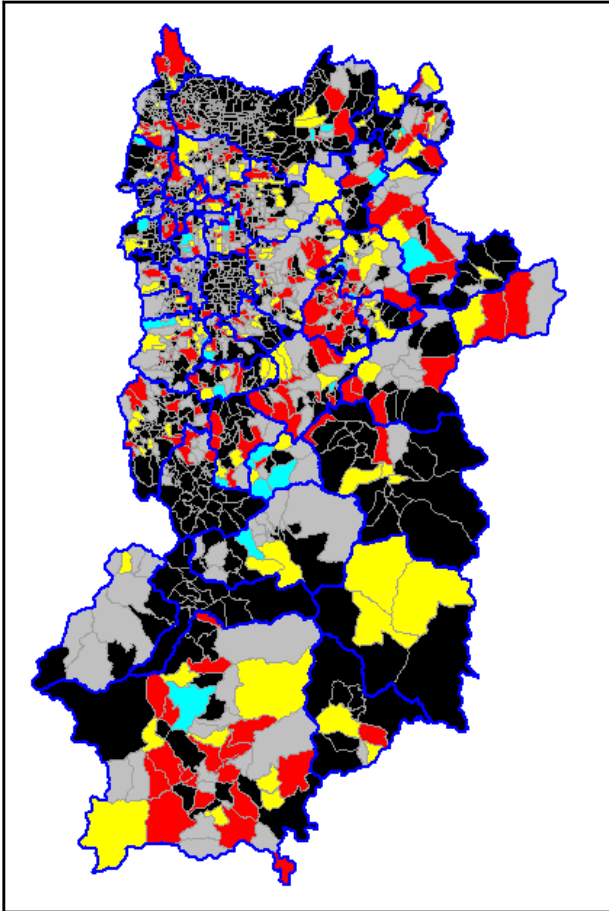
いる	506集落
いない	139集落
回答無し	73集落
回収無し	1090集落
全	1808集落

参考)平成23年度

いる	471集落
いない	130集落
回答無し	134集落
回収無し	1073集落
全	1808集落

凡例 図中 青線 旧市町村界 旧市町村界内側の線 大字・地区界
なお、この旧市町村界、大字・地区界の凡例は次項以降の図も同様である

2. ヒヨドリの農地・集落周辺への出没(平成24年度)



右図は平成24年度の農業集落アンケートによる、ヒヨドリの農地・集落周辺への出没状況である。

ヒヨドリが「いる」と回答があり、かつ本設問の回答があった391集落の内訳は下記の通りである。

平成24年度も「よく見る」との回答が約53%と、県内の多くの地域から回答があった。

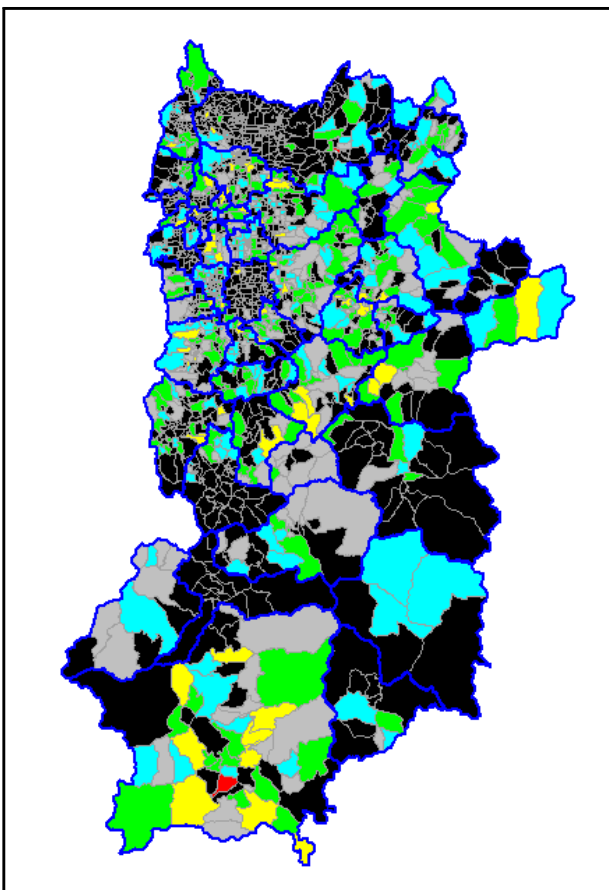
・平成24年度

よく見る	208集落 (53.2%)
たまに見る	155集落 (39.6%)
あまり見ない	28集落 (7.2%)
回答数	391集落

・参考)平成23年度

よく見る	192集落 (50.1%)
たまに見る	164集落 (42.8%)
あまり見ない	27集落 (7.1%)
回答数	383集落

3. ヒヨドリの農業被害の大きさ(平成24年度)



右図は平成24年度の農業集落アンケートによる、ヒヨドリの農業被害の大きさの意識調査の結果である。ヒヨドリが「いる」と回答があり、かつ本設問に回答のあった487集落の内訳は下記の通りである。

ヒヨドリの農業被害は、「軽微」なものが約49%と最も多かった。「深刻」は約1%とほとんど無かったが、「大きい」は昨年度よりやや増加し約12%であった。

ヒヨドリの農業被害は発生しても「軽微」なものがほとんどであるが、状況によっては被害が大きくなるものと考えられる。

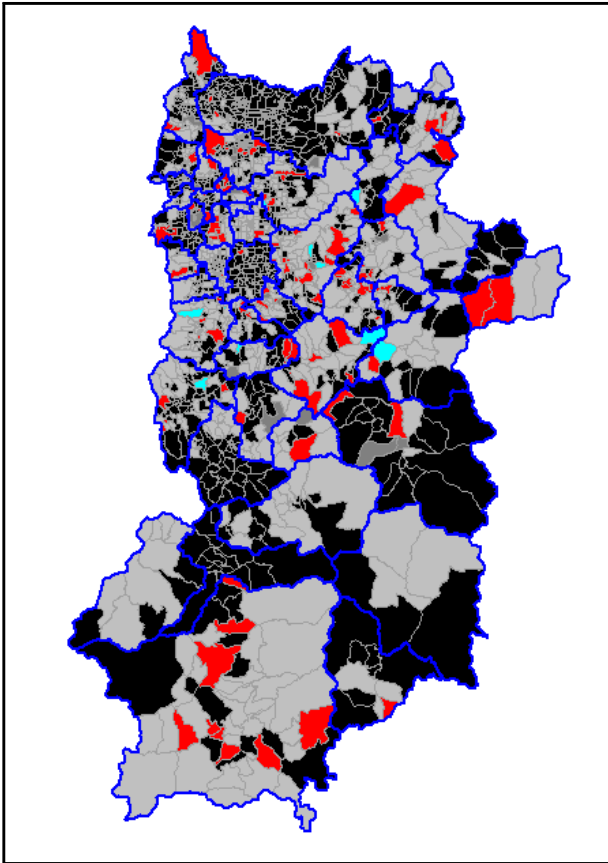
・平成24年度

ほとんど無い	183集落 (37.6%)
軽微	240集落 (49.3%)
大きい(生産量の30%未満)	60集落 (12.3%)
深刻(生産量の30%以上)	4集落 (0.8%)
回答数	487集落

・参考)平成23年度

ほとんど無い	188集落 (41.4%)
軽微	221集落 (48.7%)
大きい(生産量の30%未満)	39集落 (8.6%)
深刻(生産量の30%以上)	6集落 (1.3%)
回答数	454集落

4. ヒヨドリの被害対策 防鳥ネットの効果(農地・平成24年度)



右図は平成24年度の農業集落アンケートによる、ヒヨドリの農業被害対策の、防鳥ネットの設置による効果の意識調査の結果である

ヒヨドリが「いる」と回答があり、かつ本設問に回答のあった120集落の内訳は下記の通りである。

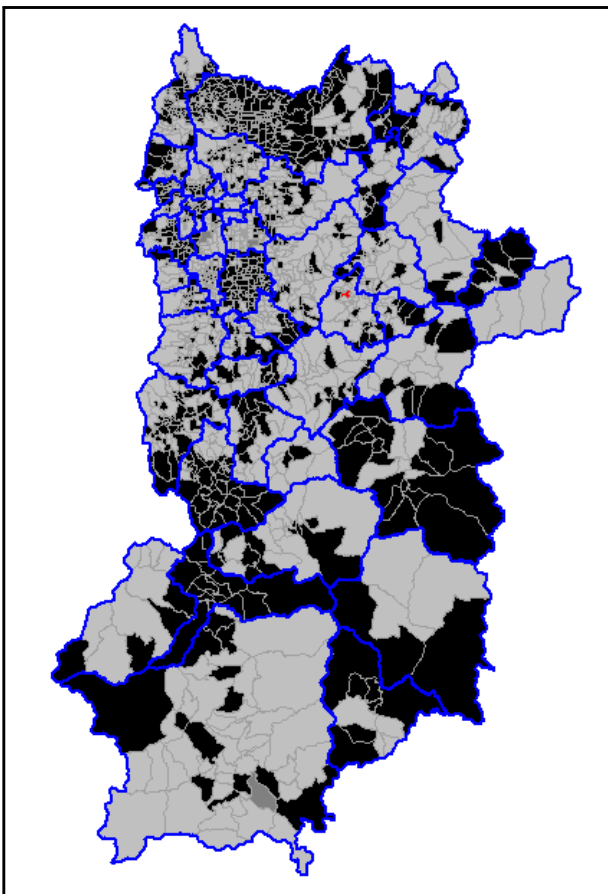
防鳥ネットは農業被害対策として、効果が非常に高いことがわかる。

・平成24年度	
■ 効果があった	110集落
■ 効果がなかった	10集落
回答数	120集落

・参考)平成23年度	
■ 効果があった	83集落
■ 効果がなかった	7集落
回答数	90集落

その他、テグスなどのラインを張り巡らすことで防除を実施しているものや、防鳥テープ、爆音機、袋かけなどで防除をおこなっているものも存在したが、その効果はあったり、無かったりとなっていた。

5. ヒヨドリの被害対策 有害捕獲の効果(農地・平成24年度)



右図は平成24年度の農業集落アンケートによる、農業被害対策の、有害捕獲を実施した効果の意識調査の結果である。

本設問へ回答は、本年度は1集落のみであった。

・平成24年度	
■ 効果があった	1集落
■ 効果がなかった	0集落
回答数	1集落

・参考)平成23年度	
■ 効果があった	2集落
■ 効果がなかった	4集落
回答数	6集落